

3 中 学 校

生徒数 30,500 人で増加
長期欠席者数は減少

表9 中学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成18	86	955	30,076	△1.1	2,085	△0.3	31.5	△0.3	14.4	△0.1	47.4
19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0	47.8
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0	47.8
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0	47.9
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3	48.0
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
国立	1	12	478	△0.2	23	△4.2	39.8	△0.1	20.8	0.8	34.8
公立	81	1,011	29,697	0.2	2,122	0.6	29.4	△0.5	14.0	△0.1	48.0
私立	1	9	325	1.9	23	21.1	36.1	0.7	14.1	△2.7	34.8

(1) 学校数

学校数は前年度と同数の83校（本校83校）であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が81校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市28校、高岡市12校、南砺市8校等となっている。

学級数別学校数をみると、13学級が8校で最も多く、次いで12学級が7校、7学級、8学級がいずれも6校ずつとなっている。（表9、統計表36、38）

(2) 学級数

学級数は1,032学級で、前年度より20学級増加した。

編制方式別にみると、単式学級が914学級（構成比88.6%）、特別支援学級が118学級（同11.4%）となっている。（表9、統計表37）

(3) 生徒数

生徒数は30,500人（男子15,550人、女子14,950人）で、前年度より52人（0.2%）増加した。これはピーク時（昭和37年度、88,658人）の34.4%となっている。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が30,187人、特別支援学級生徒が313人となっている。

市町村別では、富山市11,891人、高岡市4,744人、射水市2,771人の順に多い。対前年度増減数をみると、富山市70人（0.6%）、射水市64人（2.4%）、氷見市54人（4.1%）など8市町村で増加している。前年度より減少したのは、砺波市66人（4.3%）、南砺市62人（4.1%）、上市町11人（1.8%）など7市町であった。

1 学級当たりの生徒数は 29.6 人（前年度 30.1 人）で、全国の 29.2 人を上回っている。
本務教員 1 人当たりの生徒数は 14.1 人（前年度 14.1 人）で、全国と同数であった。

（表 9、10、統計表 40、51）

表10 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年
平成18	30,076	15,324	14,752	9,846	10,051	10,179
19	30,456	15,483	14,973	10,551	9,849	10,056
20	30,443	15,508	14,935	10,059	10,539	9,845
21	30,918	15,726	15,192	10,318	10,061	10,539
22	30,448	15,586	14,862	10,106	10,303	10,039
23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305

（4）教員数及び職員数

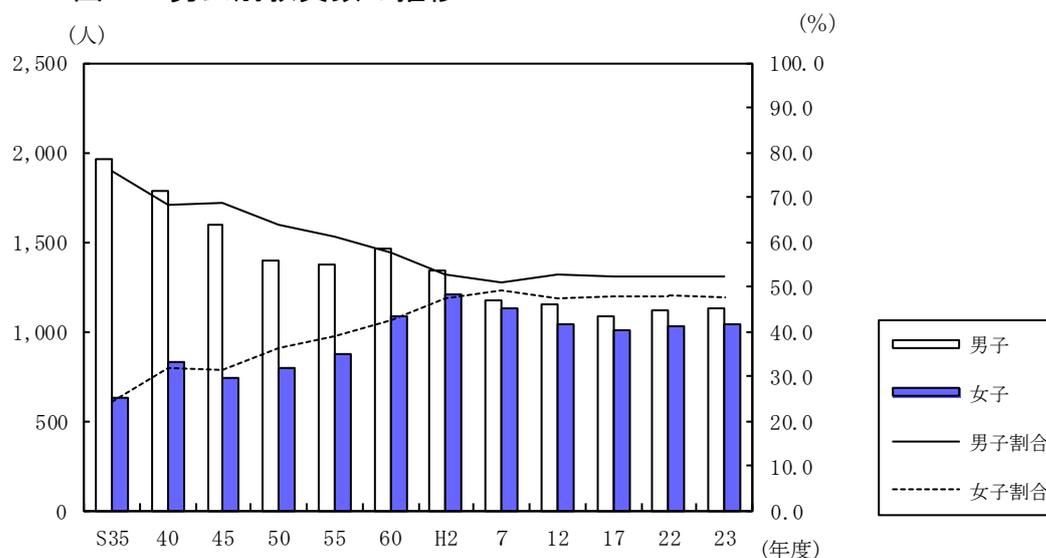
教員数（本務者）は 2,168 人（男子 1,133 人、女子 1,035 人）で、前年度より 15 人（0.7%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 47.7%となっている。

職員数は 316 人で、前年度より 16 人増加した。（表 9、11、図 5、統計表 45、49）

表 11 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成 18	2,085	1,096	989
19	2,113	1,104	1,009
20	2,107	1,100	1,007
21	2,141	1,116	1,025
22	2,153	1,120	1,033
23	2,168	1,133	1,035

図 5 男女別教員数の推移



(5) 長期欠席者数

平成 22 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 21 年度間より 14 人 (1.6%) 少ない 871 人で、理由別では「不登校」が 690 人 (構成比 79.2%) で最も多く、次いで「その他」が 124 人 (同 14.2%)、「病気」が 56 人 (同 6.4%) となっている。

全生徒数に占める長期欠席者の比率は、全国より 0.64 ポイント低い 2.86% で、低い順に全国第 8 位 (前年度第 7 位) であった。

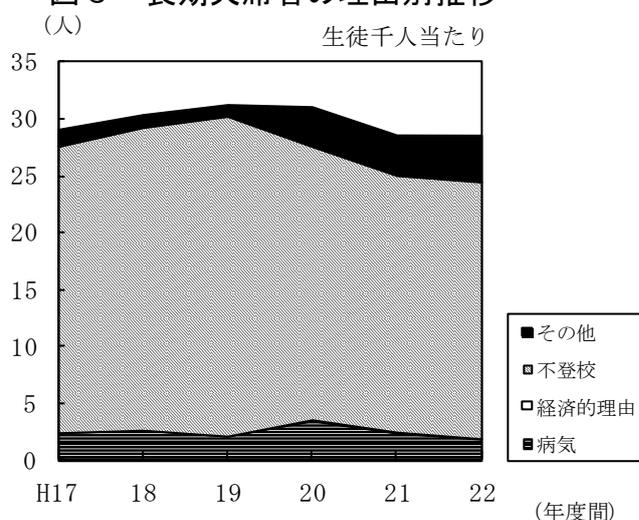
また、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国より 0.46 ポイント低い 2.27% で、低い順に全国第 4 位 (前年度第 4 位) であった。(表 12、13、図 6、7、統計表 42)

表12 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成17	885	73	-	767	45
18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124

注) 「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

図6 長期欠席者の理由別推移



$$\text{生徒千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者数}}{\text{各年5月1日現在の生徒数}} \times 1000$$

表13 全生徒数に占める
不登校の比率

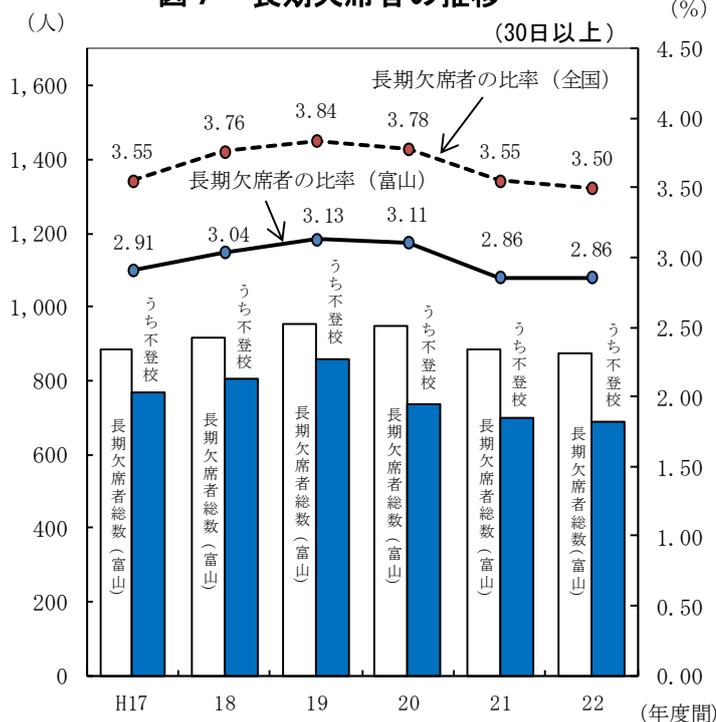
(単位：%)

年度間	富山県	全国
平成17	2.52	2.75
18	2.67	2.86
19	2.82	2.91
20	2.41	2.89
21	2.26	2.77
22	2.27	2.73

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

注) 全国の不登校の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。

図7 長期欠席者の推移



注) 全国の長期欠席者の比率は、中等教育学校(前期課程)を含まない。